

令和 2 年度 施策評価表

第 3 章 健康(けんこう)長寿のまち

まちづくりの目標	市民一人ひとりが、それぞれのおかれている状態の中で、心身の健康を実感しながら、地域の中で安心していきいきと暮らせるまちをめざします。
分野別計画・指針	所沢市保健医療計画～スマート”健康”ライフ所沢～、所沢市新型インフルエンザ等対策行動計画、所沢市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)、『生きる』を支える所沢市行動計画～気づき、寄り添い、支え合う所沢をめざして～、第三次所沢市市民医療センター改革プラン、第2次所沢市スポーツ推進計画

第1節	健康づくり
関係所属	健康づくり支援課

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「健康づくり」 所沢市は市民が健康づくりに取り組むための支援や環境が充実している	627	30.7%	228	11.2%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値
	健康寿命の順位	位	5(男性) 12(女性)	4	4	○ ×	1 1

事業目標の達成状況								
基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値	
3-1-1	主体的な健康づくりの推進	健康(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	歩	7,179	8,000	8,071	○	8,000
3-1-2	母子保健事業の充実	乳幼児健康診査受診率	%	94.3	96.5	94	×	99.0
3-1-3	食育の推進	食育に関する料理教室や講習会の開催回数	回	16	16	16	○	18
3-1-4	歯科口腔の健康保持・増進	むし歯のない3歳児の割合	%	87.3	87.5	91	○	88.0

節の基本方針への取り組み状況

◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 ○「トころん健康マイレージ事業」を1,000名対象に実施するとともに、運動教室や講演会を実施するなど、「歩き」とどまらない事業展開を図った。また、令和2年度から開始する新たなマイレージ事業においては、多くの市民の方が参加でき、「トころん健康マイレージ事業」の参加者も引き続きスムーズな移行が図れるよう、事業のコンセプトを継承し、更に魅力ある事業となるよう検討した。
 ○子育て世代包括支援センターかるがもを中心に、妊娠期からの切れ目のない支援を実施するほか、地区担当制により市内各地区の健康課題を把握し、まちづくり協議会や母子愛育会などの関係団体の協力を得て、事業を実施するなど地区の特性に応じた地区保健活動を実施した。
 ○食育については、野菜摂取の大切さや正しい食習慣の推進のため、料理教室や講習会を開催した。また、むし歯予防については、歯が生え始める頃から指導を始め、1歳6か月児健康診査においては、むし歯はないがリスクの高い子を対象にグループ指導を実施した。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
 ○乳幼児健康診査については、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症が感染拡大したため、集団健診を延期したことや個別健診の受診を控える方が増えたことから受診率が低下したと考える。

今後の方向性

◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
 ○新型コロナウイルスの感染が拡大する中、県外の実家に帰省しての「里帰り出産」が難しくなるなど、多くの妊婦が不安を抱えている。また、生活への不安や育児不安等によるストレスにより、児童虐待やDV被害等が懸念されることから、乳幼児や保護者の状況を把握し、適切な支援につなげるとともに、保護者の不安を軽減できるよう様々な情報を提供していく。
 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域での交流の機会が減少しているが、新たな健康課題を把握し、引き続き、状況に応じた地区保健活動の取り組みを進める。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年3月より乳幼児健康診査(集団)を延期したが、対象期間が短い4か月児健康診査については、令和2年6月から市内協力医療機関での個別健康診査として実施する。1歳6か月児及び3歳児健康診査については、3密の環境にならないよう工夫し、感染防止対策を講じた上で、引き続き集団健診で実施していく。

SDGsへの貢献			
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公平をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R2.6.19	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 越智 三奈子

第2節	早期発見・疾病予防							
関係所属	健康管理課、健康づくり支援課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「早期発見・疾病予防」 所沢市は検診や予防接種など、病気を発見・予防する取組が充実している		882	43.2%	232	11.4%			
評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	大腸がん検診の受診率	%	7.9	8.1	7.8	×	8.6	
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-2-1	予防接種・感染症の情報提供	二種混合予防接種の接種率	%	77	79	78	×	84
3-2-2	生活習慣病予防の普及啓発	予約制健康相談(健康・栄養・歯科・リハビリ)の相談者数	人	174	180	145	×	200
3-2-3	がん検診の普及啓発	がん検診の受診者数	人	40,170	42,000	41,444	×	47,000
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	こころの健康講座等の参加者数	人	3,246	3,275	3,334	○	3,400
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	思春期こころの健康相談の相談者数	人	28	29	20	×	32
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○造血幹細胞移植後に定期予防接種の再接種をする者に接種料の助成を行い、疾病と感染症まん延の予防及び自己負担の軽減を図った。</p> <p>○風しんの抗体保有率が低い昭和37年4月2日から54年4月1日に生まれた男性に対して、抗体検査及び予防接種を行った。</p> <p>○医師会との間で市民の健康課題と方向性について共有し、周知啓発・事業実施等について協力して市民への働きかけを進めた。</p> <p>○国保データベースシステム(KDB)などから地区毎の健診データを把握し、地区保健活動を通じて地区の健康課題を住民に伝え、生活習慣の改善につなげるよう働きかけを行った。</p> <p>○胃がん検診に胃内視鏡検査を追加し、がん検診の受診者数の増加を図った。</p> <p>○平成31年3月に「生きる」を支える所沢市行動計画を策定し、自殺対策連絡会議において本市における自殺の現状と課題を共有した。</p> <p>○こころの健康講座を年間9回開催し、市民に向け精神疾患や発達障害等の知識の普及啓発を行った。</p>								
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○大腸がん検診は、受診者が増加したが、対象者数も増加したため、目標に達しなかった。</p> <p>○二種混合予防接種は、新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、2～3月の接種者が減少したため目標に達しなかった。</p> <p>○予約制健康相談は、乳幼児健康相談や各種イベント時などにも相談の機会を設けたことにより、利用者が減少したと考えられる。</p> <p>○がん検診は、これまで集団検診で胃X線検査と肺がん検診を一度に受けていた人が、新たに始まった個別検診の胃内視鏡検査を受診したこと、集団検診のみで実施している肺がん検診を受けず、全体の受診者が伸びなかったと考えられる。</p> <p>○思春期こころの健康相談は、新たに思春期の方向性の講座を開催したこと、年度末に感染症の影響により相談が減少したことにより目標に達しなかったと考える。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○令和2年10月からのロタウイルスワクチン定期接種化に向け準備を進めるとともに、他の予防接種等についても周知・勧奨を行い接種率等の向上に努める。</p> <p>○生活習慣病の予防に加え、感染症と共存していくためにも、適度な運動やバランスの良い食事、規則正しい生活により免疫力を高めることができるよう、市民にわかりやすく、手軽に実践できる健康づくりについて周知・啓発を図る。</p> <p>○がん検診の普及啓発に努めるとともに、受診しやすい検診となるよう工夫し、受診者の増加に努める。</p>								
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○予防接種等については、他部署・他機関の協力も得ながら、広く周知を行うとともに適切な勧奨を行っていく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の流行以降、感染症に関する相談が増えており、今後は、相談内容が多岐にわたると予想されることから、FAQを作成し様々な相談に適切に対応するとともに、多くの市民が相談事業を活用し不安を軽減できるよう更なる周知を図っていく。</p> <p>○がん検診の必要性について普及啓発に努めるとともに、肺がん検診の実施方法について検討していく。</p> <p>○思春期こころの健康相談については、市内高等学校への周知のほか、毎月、広報紙による周知を行っていく。</p>								

SDGsへの貢献			
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公平をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R2.6.19	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 越智 三奈子

第3節	地域医療							
関係所属	保健医療課、市民医療センター							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,043人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「地域医療」 体調を崩したときに身近に受診できる医療機関がある		1237	60.5%	319	15.6%			
評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	所沢地区病院群輪番制病院の実施	%	実施	現状維持	実施	○	現状維持	
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-3-1	救急医療の充実	在宅当番医制の実施状況	-	実施	現状維持	実施	○	現状維持
3-3-2	地域医療の充実	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績	人	821	850	741	×	850
3-3-3	市民医療センターの運営	地域包括ケア病床の利用率	%	-	81	77	×	90
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢市医師会の運営による在宅当番医制を実施し、祝休日及び年末年始の初期救急医療体制を確保した。</p> <p>○歯科診療所あおぞらは、休日緊急診療や一般歯科診療所での治療が困難な障害児者・在宅要介護高齢者を対象とした診療を実施した。</p> <p>○所沢市域で年間を通して昼間・夜間・深夜のすべての時間帯で小児初期救急診療体制を維持するため、関係医療機関等との調整を図った。</p> <p>○市民医療センターでは、入院患者の在宅復帰支援を進めるため、平成30年11月から導入した地域包括ケア病床のより一層の充実を図った。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○歯科診療所あおぞらの障害児者診療実績については、治療が終了し、通院が少なくなるメンテナンス診療に移行した患者が増えたため、受診者数が減少したものである。</p> <p>○医療機関などから市民医療センターへの紹介入院患者数は前年度よりも増加したが、地域包括ケア病床の利用については大型連休などが影響し、目標値に達しなかったものである。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○市民に対し医療を安定的に提供するため、引き続き所沢地区輪番制事業や在宅当番医制事業等の充実に努める。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、県や保健所、所沢市医師会との連携をさらに強化し、市民への情報提供に努める。</p> <p>○市民医療センターでは、市内医療機関等との連携をさらに強化し、小児初期救急医療体制の維持と安定的な運営に引き続き努める。</p> <p>○市民医療センターでは、急性期を脱し、病状が安定した患者の在宅復帰に向けて、リハビリテーション機能の更なる充実を図る。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○歯科診療所あおぞらについては、診療を必要とする市民が情報を得られやすいように所沢市歯科医師会と協力し、パンフレットの配布やHPIによる情報発信を強化する。</p> <p>○リハビリテーション機能を安定的に提供できるよう、受け入れ態勢や病床管理等の調整を図る。</p> <p>○地域包括ケア病床の利用など、市民医療センターの診療内容についての周知に努め、地域の医療・介護・福祉との連携を深める。</p>								
SDGsへの貢献								
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう					
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを					
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任					
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を					
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう					
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう					
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公平をすべての人に					
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう					
9	産業と技術革新の基盤を作ろう							
評価日	R2.6.19	記入者職氏名	健康推進部次長 前田 広子 市民医療センター事務部総務課長 中村 まさみ					

第4節	医療保険・医療情報	
関係所属	国民健康保険課	

施策に対する市民満足度・要望度 （「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果）※回答数：2,043人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「医療保険・医療情報」 所沢市から医療に関して必要な保険サービスが提供されている	671	32.8%	246	12.0%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H28)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値
	特定健康診査の受診率	%	39	45	40.5 (H30)	×	60

事業目標の達成状況

基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-4-1 保険給付の適正化	第三者行為求償件数	件	45	45	31	×	45
3-4-2 特定健康診査等の充実	30歳代の被保険者の健康診査受診率	%	9.7	12.0	11.8 (H30)	×	20.0
3-4-3 生活習慣病重症化予防の対策	人工透析の新規移行者数	人	35	35	54	×	35
3-4-4 ジェネリック医薬品の利用促進	ジェネリック医薬品の数量シェア	%	71.9	78.0	77.7	×	80.0
3-4-5 後期高齢者医療制度の充実	後期高齢者健康診査の受診者数	人	13,125	14,100	14,316 (H30)	○	16,900

節の基本方針への取り組み状況

- ◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 - 保険給付の適正化のため第三者行為求償事務の適切な処理に努めた。
 - 医療費適正化のため、生活習慣病重症化予防対策事業及びジェネリック医薬品の数量シェア向上に取り組んだ。また、特定保健指導の利用率向上のため、動機付け支援を医師会に委託した。
 - 後期高齢者の健康保持・増進のため、健康診査を実施した。実施に際しては、対象者に受診券を個別送付したほか、広報に掲載して周知を図った。また、制度を安定的に運営するため、保険料の電話催告及び臨戸訪問を実施し、収納率の向上に努めた。
- ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
 - 第三者行為求償事務については、被保険者数の減少から総数も減少している。
 - 特定健康診査等の受診率については、30代は健康に対する意識が希薄であること、高齢者については既に医療機関にかかっていることからの安心感などから健診に結び付いていないことが要因と考えられる。
 - 人工透析の新規移行者数については、全国的に増加傾向にあり現代病として問題視されている。
 - ジェネリック医薬品の数量シェアについては、ある程度普及が進んでいるため進捗は鈍化傾向にある。

今後の方向性

- ◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
 - 国民健康保険の健全な運営のため、医療費通知をはじめとした周知等により健康への関心を深め適正な保険給付が行えるよう努める。
 - 特定健康診査等の受診率向上に向け、医師会との連携を図り、引き続き普及啓発を実施していく。
 - 広域連合と連携を図りながら、保健事業と介護予防事業の一体的実施を中心に保健事業を充実させていく。
- ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
 - 特定健康診査等の受診率については、若いうちから健康への意識を高める普及啓発を実施していく。
 - 人工透析の新規移行者数については、県の生活習慣病重症化予防事業に引き続き参加し、参加者を増やしていく。
 - ジェネリック医薬品の数量シェアについては、引き続き普及啓発に取り組む。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナースhipで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R2.6.19	記入者職氏名	健康推進部次長 前田 広子
-----	---------	--------	---------------

第5節	スポーツ推進	
関係所属	スポーツ振興課	

施策に対する市民満足度・要望度 （「令和元年度所沢市市民意識調査」の結果）※回答数：2,043人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「スポーツ推進」 所沢市はスポーツ活動やスポーツに触れる機会が充実している	497	24.3%	148	7.2%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値
	スポーツを楽しんでいる市民の割合	%	47.6	48.5	48.1	×	51.0

事業目標の達成状況								
基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R元年度目標値	R元年度実績	達成状況	R6年度目標値	
3-5-1	スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進	週1回以上スポーツを実施する成人の割合	%	38.2	42.0	69.1	○	52.0
3-5-2	競技会場の確保や交流機会の充実	ところざわほっとメールにおける「スポーツ情報」の利用登録者数	人	4,554	5,100	5,394	○	6,600
3-5-3	スポーツ活動の支援と環境整備	スポーツ・レクリエーション施設利用者数	人	858,492	859,500	777,105	×	862,000
3-5-4	スポーツに触れる機会の充実	市ホームページ等のスポーツ情報発信数	回	213	240	239	×	315

節の基本方針への取り組み状況

◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 ○市民体育館と地区体育館4ヶ所の照明をLED化し、館内の照度が上がり、施設の環境整備を行うとともに電力消費量を抑えることができた。
 ○第30回を迎える所沢シティマラソン大会に6千人を超えるランナーが申込み、西武ライオンズとコラボした記念Tシャツを参加賞として配布した。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
 ○体育館の照明のLED化工事のほか、北野総合運動場テニスコートの人工芝張替え工事等に伴い施設を利用できない期間があったことに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月6日から屋内体育施設を全館休館し、屋外体育施設も3月末の土日を閉場したことが施設利用者数の減少に大きな要因となった。また、各種イベント等も中止が相次いだため、情報発信数も僅差で目標に及ばなかった。

今後の方向性

◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
 ○各種スポーツ大会や教室等を充実させ、ライフステージに応じたスポーツ活動が気軽に楽しめる環境づくり。
 ○各スポーツ施設の経年劣化に伴い、計画的な修繕を行い施設環境の充実を図る。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
 ○外出自粛が長引くなかでも気軽にスポーツに親しめるよう、ダンスや筋力トレーニングの動画をYouTubeに載せて、自宅のできる運動を中心に紹介している。今後、安全にスポーツを楽しめる状況に戻った際は、各種大会や体操教室などへ多くの参加が望めるよう、積極的に周知し、スポーツ推進を図る。

SDGsへの貢献	
1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R2.6.19	記入者職氏名	教育総務部次長 市川 雅美
-----	---------	--------	---------------